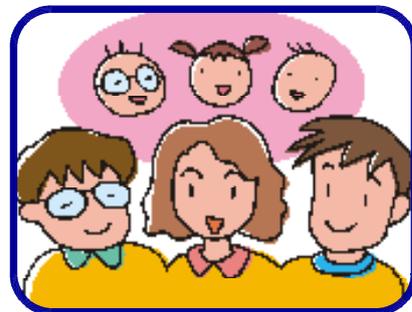


みまからの風

徳島県立池田支援学校美馬分校

本校は4月に開校し、本年度は1名の特別支援教育巡回相談員が、美馬市・美馬郡を中心に活動しています。

今回、巡回相談便り「みまからの風」を発行しました。ご覧ください。



○ 池田支援学校美馬分校の紹介

本校は、徳島県唯一の高等学校に併設された特別支援学校です。高等部のみを設置しており、対象とする障害種別は知的障害です。特別支援教育のセンター的な役割も担っています。

活動の内容をいくつか紹介します。

◎教育相談

- ・子どもの困り感に寄り添い、現場に応じた支援が行えるようサポート。
- ・支援の手がかりを得るためのアセスメント、発達検査の実施。

(電話相談、来校相談)

月～金曜日 9:00～17:00

(出張相談)

月・・・午後、水・金・・・終日

◎情報提供

- ・教材や教具、検査器具の紹介や専門家の紹介。
- ・行政サービスの利用や地域福祉サービスの活用についての紹介。

◎体験入学・学校見学

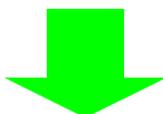
- ・随時、学校見学を受け付けています。
- ・体験入学については、別途御連絡いたします。

○ アンケートより

先日、美馬市・美馬郡の全保育所・幼稚園・小学校・中学校・高等学校に向け、「特別支援教育の現状及び美馬分校のセンター的機能に関するニーズ調査」についてのアンケートをお願いしましたところ、早々にご回答いただきありがとうございました。アンケートでのご意見をいくつか紹介させていただくとともに、みなさまのご意見をもとに、次年度に向けてさらに、地域のニーズに沿ったサポートが実現できるよう取り組んで参りたいと思います。

- ・保護者に対する特別支援教育の啓発をどのように行っていけばいいのか？
- ・支援学級における学習内容は、どのようにすればいいのか？
- ・通常学級における支援は、どうすればいいのか？
- ・発達検査等による客観的な実態把握をどう活かせばよいか？
- ・教職員研修をどう深めていけばよいか？
- ・通常学級における支援の必要な子どもの「個別の指導計画」作成はどうすればいいのか？
- ・次年度の引き継ぎはどうしたらよいか？(教職員が異動してしまう。)

いろいろな「困り感」について巡回相談員がサポートします。
教育相談(電話相談・来校相談・出張相談)をご活用ください。



《巡回相談員によるサポートやアドバイスの一例》

○「通常学級における支援って、どうすればいいのだろう？」

<通常学級での指導のポイント>

環境の整備 <ul style="list-style-type: none">◆刺激の軽減<ul style="list-style-type: none">・教室環境（掲示物、黒板など）・座席◆視覚的明瞭化<ul style="list-style-type: none">・板書（色・大きさ）等の工夫◆安心できる場所<ul style="list-style-type: none">・カムダウンスペース など	教師の関わり方 <ul style="list-style-type: none">◆指示は短く、肯定的に！◆指導形態の工夫<ul style="list-style-type: none">・一斉、個別◆教職員間の連携<ul style="list-style-type: none">・チームティーチング（特別支援学級担任、支援員、ボランティア など）	学級全体への対応 <ul style="list-style-type: none">◆グループの工夫<ul style="list-style-type: none">・人数、性格、男女、学級リーダー など◆障害理解<ul style="list-style-type: none">・ピアサポート、ソーシャルスキルトレーニング、道徳、学級活動の充実 など◆授業のユニバーサルデザイン化
教材・教具の工夫 <ul style="list-style-type: none">◆具体的に！<ul style="list-style-type: none">・手順、理由、背景 など◆視覚的に！<ul style="list-style-type: none">・スケジュール・図、重要マーク・イラスト、映像 など	個別の教育支援計画、個別の指導計画 <ul style="list-style-type: none">・必要に応じて作成します。保管や扱いに注意しましょう。 	

具体的な支援については、子どもたちのニーズを把握し、整えていきましょう。客観的に子どもを把握すると手立てが見つけやすくなります。必要に応じて発達検査を実施するとともに、その結果を有効活用しましょう。

○「先生が異動してしまう・・・次年度の引き継ぎはどうしよう？」

子どもの実態やエピソードを伝えることも必要だけど・・・。

具体的な支援の内容を、わかりやすい方法で伝えましょう。

教室環境の整備の仕方、子どもに対する配慮事項（課題の内容や提示方法・板書の工夫・言葉かけのポイントなど）、問題となる行動に対する適切な支援方法（うまくいった支援例）などを具体的な内容を伝えましょう。写真、ビデオを用いると効果的です。

引き継ぐときには、引き継ぎ資料を渡すだけでなく・・・。

できる限り、**新旧の担任が直接会って、引継ぎ・打合せをしましょう。**

難しいケースの場合には、巡回相談員をご活用いただくこともできます。

年度末の忙しい時期だと思いますが、4月の新しいスタートに向かつての準備を計画的に進めましょう。

子どもたちにとって4月は、期待と不安でドキドキです。だれだって、気持ちよくスタートを切りたいものです。もう一度、子どもたちの1年間を見直して、新学年のスタートがうまく切れるようしっかり引き継ぎを行っておきましょう。

担任が変わってしまっても・・・支援学級の担任は初めてなので・・・は理由にならないのでは？引き継ぎのバトンは、渡す側と受け取る側の連携が大切です。

子どものためにも、この時期が先生としての腕の見せ所！！よりよいスタートを切りましょう。

◎ 連絡先

徳島県立池田支援学校美馬分校（TEL 0883-55-2237）

特別支援教育巡回相談員

特別支援教育コーディネーター

大北由里子

